

受け継がれる雄中生の素晴らしさ

校長 片山 亮一

先日、5月の修学旅行に向けた2年生の「平和学習」の一環として、広島被爆者援護会理事長の石原智子さんを本校にお招きし、ご講演いただきました。

石原さんのお母様は妊娠1か月のとき、お父様を捜すために原子爆弾が投下された直後の広島市内に入って被爆され、おなかの中にいた石原さん自身も「胎内被爆者」となりました。高校生のときに体調に変化が現れ、自分も被爆者であることに気付いたそうです。

ご両親から伝え聞いた被爆直後の広島の様状や、被爆者だけが特別な存在なのではなく国民全員が犠牲者であり、命を犠牲にした人々のお陰で「今日の平和」があることを、石原さんはご両親の願いに重ねながら熱く語ってくださいました。

生徒からの質問はそれほど多くはありませんでしたが、石原さんが伝える言葉の重みをしっかり書き留める姿、語り手を終始見つめて一つ一つを自身の心に刻み込もうとする視線など、どの生徒も真剣そのものでした。

今年の2年生も本当によく聴いてくれましたね。だから、とても話し甲斐がありました。

講演のために何度も雄山中学校を訪ねているからでしょうね。私、富山は第二の故郷のように入って思えてならないんです。

講演でお邪魔しても広島でお会いしても、本当にすてきな子供たちですからね。先日も広島で駅伝の大会がありましたけれど、雄山中学校の生徒さんが出ておられて、心から応援していたんですよ。すごいことですよ。

校長室で石原さんからいただいたこの言葉に、私は苦労を重ねた方ならではの「計り知れない人間愛」を感じました。

玄関先でお見送りをする際も、たまたま近くにいた3年生女子たちの整った制服姿や礼儀正しい挨拶、自然な笑顔を目ざとく見付け、次のような言葉をかけてくださいました。

今年の2年生が立派なのは、2年生の頑張りもあるけれど、やっぱり3年生がこんなにも素敵でいてくれているからですね。よいものは受け継がれている、本当にあなた方先輩たちのお陰だね。今日も温かい気持ちで広島に帰れそうだね。

石原さんの「よいものは受け継がれる」の言葉に、私の心の中で本校生徒会の取り組みが重なりました。

つい先週までは『おそうじしちゃおーぜ！～心も校舎もピッカピカ～』を明るく展開していた後期生徒会が、新たに『Sun Flower ～笑顔は小さな親切から～』をスタートさせています。この企画は校内の心温まるエピソードを「ひまわりカード」で紹介し合い、全校で大きなひまわりを咲かせようとする、卒業や修了の時期にふさわしい「ほのぼのとした活動」です。

3年生が中心となった前期生徒会が『十人十色』をスローガンに掲げながら、生徒それぞれのよさを互いに認め合える活動を様々に展開してくれました。そして、その強い願いが後輩たちに今も確実に受け継がれていることがとても感慨深く思われます。



社会に学ぶ「14歳の挑戦」交流発表会

1月22日（水）、2年生が「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」で体験したことを、交流発表会の場で同級生や1年生に伝えました。1年生に「伝える・つなぐ」ことをどの生徒も十分に意識し、スライドや実演も交えながら工夫して語っていました。1年生はそれぞれの発表に興味深く聞き入り、質問や感想をそれぞれ2年生に伝えていました。

【生徒の感想より】

- ・ 体験してきた人の言うことには説得力があると思いました。働く上で、挨拶とマナーと時間を守ることは基本であり、とても大切だと思いました。今回聞いたことを生かして、「14歳の挑戦」では自分ができることを精一杯したいと思いました。（1年生）
- ・ 「14歳の挑戦」は将来につながる大事な機会なので、どのように話せばよいか悩みましたが、そのときに抱いた感情や学んだことを素直に表現しました。保育園児への交通安全指導や鑑識体験での指紋や足跡の調査だけでなく、『命を学ぶ教室』で知った被害者の思いについても語り、後輩たちが少しでも警察署で体験したいと思えるよう工夫しました。自分にとっても、「14歳の挑戦」を振り返るよい機会になりました。（2年生）



活動中の写真を使いながら発表



発表者への様々な質問

「入学説明会」で2年生が今年也大活躍！

2月7日（金）午後、次年度に入学を予定している小学校6年生を対象に「入学説明会」を開催し、本校の2年生が資料の製本や袋詰め、受付等の一人一役を担い、小学生たちを温かく迎えました。

説明会の前半は、授業を体験する教室に6年生をそれぞれ誘導し、授業の中でも担当の先生を補助したり活動のお手本になったりと、頼もしい姿をみせました。

後半は、「生徒会長の一日」と題したスライドに沿って中学校生活の流れを紹介した後、混声合唱を披露したり、ユニフォーム姿で部活動を紹介したりしました。

【生徒の感想より】

- ・ 小学生の授業での表情の変化が印象に残っています。
最初は緊張している様子でしたが、体験授業が進むにつれて楽しんで参加してくれました。学校紹介や部活動紹介では緊張も解けたようで、多くの笑顔がみられました。例年とは異なった新たな試みが多く、私自身も緊張しましたが、とてもよい経験になりました。（体験授業案内係）
- ・ 案内係として「常に笑顔でいること」「優しく話しかけること」を意識しました。緊張している6年生をなるべく不安にさせないように話を盛り上げたり、質問に丁寧に答えたりするのが大変でした。活動中もなるべく手を出さずアドバイスをすることを心掛けました。いろいろと気を配って大変でしたが達成感がありました。（体験授業案内係）
- ・ 部活動は小学生にとって楽しみにしていることのひとつだと思うので、自分たちの部活動に関心をもってもらえるように部活動のよさを伝えることを心掛けて紹介しました。今回の入学説明会で感じた緊張感や達成感自分にとって有意義なものでした。改めて「もうすぐ3年生になるのだな」と実感しました。（部活動紹介係）



受付で2年生が笑顔でお出迎え



体験授業に誘導する2年生



体を使った実験を楽しむ理科の授業



部活動を紹介するたくましい姿